

こんにちは!!

市長です

Vol.50

「心(こころ)」



▶ケーブルテレビの撮影で書いた「心」の色紙

毎年年末に、ジェイコムというケーブルテレビの取材で、新年の抱負を色紙に書いてほしいと依頼されます。昨年は、「コロナを克服したい」「貧困や差別を克服し共生

社会を作りたい」との思いで、「克」と書きました。しかし、残念ながら目標は達成されていません。

今年は「心」と書きました。コロナ禍によって、マスクにより相手の表情が見えない、また3密を避けるため生活上の制約がある、そんな中で、「心」の絆の大切さを皆で呼び掛け合ってきました。

コロナは、まだ収束していません。そして、貧困や格差、差別、誹謗、中傷もなくなりません。

経済が成長するにしたがって私たちの生活は豊かになりましたが、心は貧しくなったのではといわれています。

『寒くても、心は温かくありたい。』

コロナ禍にあっても、心までもがすさまじいようにしたいものです。

今年の干支は「壬寅」です。「壬」は、厳冬や沈滞ということを表し、「寅」は動くという意味で、春が来て草木が生える様子を表しています。2つが合わさり、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれる年になるといわれています。

今年が皆さまにとって、希望に満ちた良い年になりますように「心」からお祈りします。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎ ☎3215)

### 美術の小窓



#### 《花冠》

桑原巨守作  
1985年

高さ:108cm 素材:ブロンズ

豪華な花の冠をかぶり身体をくねらせた愛らしい桑原作品は「常設特別展」で紹介しています。美術館は移転計画を進めており4月1日から休館となりますので、現在の場所で桑原作品が観られる最後の機会です。ぜひ、お出かけください。

#### ●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設特別展 桑原巨守と教え子たち	～3月31日(木)	200円
市民ギャラリー	第46回渋川・北群馬両工 美術作品展	1月14日(金)～30日(日)	無料

■開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)  
※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●1月の休館日 1日(祝)～4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)

関東管領の上杉氏は北条氏に追われて越後へと逃げ、1560(永禄3)年にその上杉氏を奉じて三国山脈を越え、関東に侵攻したのが上杉謙信でした。これ以後、上野国は上杉謙信・武田信玄・北条氏らの戦国大名が覇権を争う戦場となりました。謙信や信玄の亡き後は北条氏が覇権を握りますが、みなかみ町の名胡桃城を攻めたことを機に、豊臣秀吉は小田原攻めで北条氏を滅ぼし、1590(天正18)年、関東の戦国時代は終結しました。

白井城は上杉家臣の長尾氏によって築かれた、上野国の中では古い城館です。吾妻川の段丘崖と利根川の河岸段丘に囲まれた要害の地にあり、深い堀や土塁を伴った多くの区画からなります。江戸時代初期には本多氏が城主となり白井藩ができますが、血筋が絶えて、じきに廃城・廃藩となりました。



白井城本丸入口に残る石垣

## 古を訪ねて

46

### 白井城